

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2023 年 9 月

「神のむすこ娘たち」「兄（I）」「後の雨を受ける準備」「玄米コロッケ」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

今月の聖書勉強

「兄 (I)」

4

聖書の教え

朝のマナ

「神のむすこ娘たち」

8

Sons and Daughters of God

現代の真理

「キリストが戸をたたいておられる (IV)」

39

Good Way Series- 正道 -

力を得るための食事

「玄米コロッケ」

44

レシピ

お話コーナー

「覚えるべき日 (II)」

46

聖書物語

【正丸教会】

〒 368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話 : 0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒 905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話 : 0980-55-8136

発行日 2023 年 8 月 6 日

編集&発行 SDA 改革運動日本ミッション

〒 368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 48

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

神はご自分の働きを愛する人々を 結びつけられる

ルターは、ローマ教会の誤りと罪とに抗議の声をあげて、幾干という人々を閉じ込めて、彼らを行為による救いに依存させていた暗黒の鎖を、打破しようと熱心に努力した。彼は、人々の心に、神の恵みの真の富と、イエス・キリストによって与えられる救いの尊さを悟らせることができるようにと願った。…彼の勇氣はくじけなかった。なぜなら、彼は、神の強い腕によりたのみ、神にあって勝利することを確信していたからである。…

わたしは、ルターが、熱心に、熱烈に、恐れることを知らず、大胆に罪を責め、真理を擁護したことを示された。彼は悪人や悪魔を気にかけなかった。それよりも、もっと偉大なお方が自分と一緒におられることを、彼は知っていた。ルターは熱心と勇敢さと大胆さのあまり、ときには極端に走る危険があった。しかし神は、ルターと性格のちょうど反対なメランヒトンを用いて、ルターが改革の働きを進めるのを助けさせられた。メランヒトンは内気で、臆病で、用心深くて、非常に忍耐強かった。彼は神から非常に愛された。

彼の聖書の知識は深く、その判断と知恵はすぐれていた。神の働きを愛することはルターと変わらなかった。神はこのふたりの心をかたく結びつけられた。ふたりは離れることのできない友だちだった。臆病で、ぐずぐずするおそれのあるときには、ルターがメランヒトンにとってよい助けとなり、行き過ぎるおそれのあるときには、メランヒトンがルターにとってよい助けだった。

ルターだけにまかせておけば、改革運動にやっかいな問題が起こったかもしれないような時に、遠い先のことまで見通すメランヒトンの用心深さのおかげで、そうしたやっかいな問題が起こらずにすんだことが幾度かあった。また、メランヒトンだけにまかせておけば、改革運動はいつまでも前進しなかったにちがいない。わたしは、こうした兩人を選んで改革運動の働きを進められた神の知恵を示された。

それから、わたしは、使徒時代に連れもどされて、神が熱誠あふれるペテロと穏やかで忍耐深いヨハネを仲間として選ばれたのを見た。ペテロは時折性急であつたので、そのような場合には、愛する弟子ヨハネが、彼を引き止めたものであつた。しかし、これは彼を改革するに至らなかった。だが、彼は、主を拒み、悔い改め、改心したあとでは、彼の熱情と熱心を制するためには、ヨハネの穏やかな注意だけで十分であつた。キリストの働きは、ヨハネだけにゆだねられていたならば、行き詰まったことであろう。ペテロの熱心も必要であつた。ペテロの大胆さと精力は、しばしば、彼らを困難から救い、敵を沈黙させた。ヨハネは、人をひきつけた。ヨハネは、彼の忍耐強さと、愛情深さによって、多くの人々をキリストの教えに導いた。(初代文集 370-372)

聖書の教え

兄 (I)

「ところが、兄は畑にいたが、帰ってきて家に近づくと、音楽や踊りの音が聞えたので、ひとりの僕を呼んで、『いったい、これは何事なのか』と尋ねた。僕は答えた、『あなたのご兄弟がお帰りになりました。無事に迎えたというので、父上が肥えた子牛をほふらせなされたのです』。兄はおこつて家にはいろいろとしなかつたので、父が出てきてなだめると、兄は父にむかって言った、『わたしは何か年もあなたに仕えて、一度でもあなたの言いつけにそむいたことはなかったのに、友だちと楽しむために子やぎ一匹も下さつたことはありません。それなのに、遊女どもと一緒にあって、あなたの身代を食いつぶしたこのあなたの子が帰ってくると、そのために肥えた子牛をほふりなさいました』。すると父は言った、『子よ、あなたはいつもわたしと一緒にいるし、またわたしのものは全部あなたのものだ。しかし、このあなたの弟は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのはあたりまえである』。(ルカ 15:25-32)

一般的に、兄弟の関係というのは、非常に複雑なものです。聖書自体、兄弟間の争いについて多くの記述があります。親が介入するかもしれませんが、兄弟が家にいるとき、戸の内側に静かで平和な環境を維持することは、難しいものです。彼らの関係には相反する二極があります。あるときは友好的に談笑しますが、その後に気分が変わり、戦いが始まります。

わたしの二人の兄が若かったとき、彼らは典型的な議論を始めました。つまり、兄弟が同意しないとき、必ずしも筋の通った理由はないという事例でした。彼らはその時小さく、みんなスーパーマーケットに買い物へ行くために車に乗っていましたが、一人が次のように言いました。「お父さん、ぼく、犬が欲しい」。他の者がおくれを取るまいと、「お父さん、わたしは子猫を買いたいと思います」と言いました。兄がその時に答えました。「あなたが猫を飼うことはできないよ。僕の犬とけんかを始めるから」。これが、筋の通らない議論の始まりでした。彼らは、まだ自分たちが飼ってもいない動物のために、戦争をしていたのです。

しかし、兄弟はしばしば、外的な脅威に対して一致して前線を張ります。学校で、みなさんも数多く見ることでしょう。家では兄弟たちはたえず口論しているかもしれませんが、だれか他の人が、彼らの中のひとりをつつき始めると、他の者が腹を立て、自分の兄弟を守ります。それはあたかもただ家族の一員だけが言われた兄弟に対して議論をしたり、けんかをしたりする権利があるかのようです。放蕩息子の物語の最後に兄が登場するときに、ちょうどこれにあたります。説明の中で、イエスは二人の間の関係は良くなかったと述べています。癒されていないかった深い感情的な傷があったのです。

多くの人々と語ってきて、わたしはたとえの中の弟が道をふみはずし、身を持ちくずし、放蕩な生活で自分の遺産を浪費してしまったという考えに気づきました。多くの人は、弟が物語の悪者だと考えていました。わたしたちが兄について語ると、一般的な理解は、家にとどまっていたこの人は、働いて、従って、すべて正しいことをしていた、たとえの「良い子」でした。これは知らずにおかしている間違いです。

兄の人柄と品性を考えてみましょう。

わたしたちはすでに、このたとえを「失われた子どもたちのたとえ」にしようというわたしたちの提案を述べました。

なぜでしょうか。

まず、二人の息子たちは父親と一緒に家に暮らし、家の子供としての権利と特権を享受していました。弟は自分の遺産を先に受け取る価値が自分にはあると考えて、家を離れ、すべての資産を浪費し、自分の健康を損ない、ついには悔やみながら帰ってきました。

兄もまた遺産を受けましたが、兄だったために二倍でした。父が「その身代をふたりに分けてやった」とあるのを覚えていましょう（ルカ 15:12）。

兄が家に残り、田舎で規則正しく働き、そしてある程度までは家の義務を果たしていたのは事実です。彼の言葉に、「一度でもあなたの言いつけにそむいたことはなかった」とあります（ルカ 15:29）。

この表現はキリストに近づいた富んだ青年が次のように言った時の言葉を思い起こさせます。「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか」。イエスはお答えになりました、「もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい」。この青年は答えました、「それはみな守ってきました。ほかに何が足りないのでしょうか」。イエスは、一つ足りないとお告げになりました（マタイ 19:16-21）。そのときイエスは、衝撃的な提案をもって青年に挑み、人間の魂の深い知識を明らかにされました。「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」（マタイ 19:21）。聖なる説明は次のように述べています。「この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである」（22 節）。

主人であるお方に質問をした青年の生活と心には何が欠けていたのでしょうか。彼には心の中に神の愛が欠けていました。このことについて、
エレン・G・ホワイトは次のように述べています。

『あなたに足りないことが一つある』。『もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい』とイエスは言われた（マルコ 10:21、マタイ 19:21）。キリストはこの役人の心を読まれた。彼にはただ一つ足りないことがあったが、しかしそれは重大な原則であった。彼はその魂のうちに神の愛が必要だった。この足りないところを補わなければ、それは彼にとって致命的となるのである。彼の性質全体がだめになってしまうのである。甘やかしておく、利己心がますます強くなるだろう。彼が神の愛を受け入れるためには、自我に対する最高の愛を克服しなければならない。（各時代の希望中巻 328, 330）

「神の律法を守ってきたという彼の主張は欺瞞であった。彼は、富が彼の偶像であることをあらわした。世俗が彼の愛情の中で首位を占めている間は、彼は神のいましめを守ることができなかった。」（各時代の希望中巻 331）

使徒パウロがローマのクリスチャンに宛てた靈感の言葉を考えてみましょう。

「互に愛し合うことの外は、何人にも借りがあつてはならない。人を愛する者は、律法を全うするのである。『姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな』など、そのほかに、どんな戒めがあつても、結局『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』というこの言葉に帰する。愛は隣り人に害を加えることはない。だから、愛は律法を完成するものである。」(ローマ 13:8-10)

イエスはご自分の弟子たちに言われました、「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」(ヨハネ 14:15)。わたしたちは、自分がイエス愛していることを証明するために、戒めを守るべきでしょうか。あるいは、このお方の戒めを守るために、イエスを愛する必要があるのでしょうか。実際、わたしたちはイエスのための真の愛を生み出すことはできません。わたしたちは自分の心にこのお方の愛を持つために、イエスを受け入れる必要があります。使徒ヨハネは次のように述べました、「わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである」(ヨハネ第一 4:19)。

「義は聖であり、神に似ることである。そして『神は愛である』(ヨハネ第一 4:16)。義は神の律法にしたがうことである。なぜなら『あなたのすべての戒めは正し』(詩篇 119:172)、『愛は律法を完成するものである』からである(ローマ 13:10)。義は愛であり、そして愛は神の光であり、命である。神の義はキリストの中に具体化した。わたしたちはキリストを受けることによって義を受けるのである。」(祝福の山 22)

イエスを求めた青年は、神の律法の中でいくつの戒めを守っていたのでしょうか。一つも守っていなかったのです。心の中に神の愛がなければ、神の律法を守ることはありません。そして規則のうちの一つを破る人は、それらすべてを破ったことになるのです(ヤコブ 2:10)。

神のむすこ娘たち

Son and Daughters of God



9 月

わたしたちは神の同労者

神と共に働く特権

「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である。」
(コリント第一 3:9)

天の神は人々に、ご自分の政府に対してそむいていたとしても、今日神に自身を完全に捧げるなら、あなたは私の同労者になることができると仰せになる。……創造主から恵みの豊かな流れを受け、このお方と調和して働くことができるというのは素晴らしいことではないだろうか。創造主はわたしたち、すなわち貧しく弱く弱々しい者に何を望んでおられるのだろうか。このお方はわたしたちと共に何をする事がおできになるだろうか。もしわたしたちがすすんで全てを捧げるなら、あらゆることができるのである。(ユース・インストラクター 1900 年 5 月 3 日)

神が私を、ほんの子供の時に、ご自分の働きへと召された時、私には何ができるのだろうか考えるのが常であった。神は私の命じることを行いなさいと仰せになる。これが、わたしたちの誰もがする必要のあるすべてのことである。最年長の人から最年少の人に至るまで、あなたがた一人一人にできることがあると申しあげたい。あなたは神と……また互いに協力することができる。……あなたはどのように自分自身を喜ばせるかを研究したりはしない。自分が及ぼす感化に責任があることにあなたは気づく。……

「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑である。このことを考えなさい。このお方は、丁度あなたが畑仕事をするように、思いに働きかけようとしておられる。ご自分の栄光に対して実を結ぶ種を播こうとしておられる。「あなたがたは、神の建物である。」しかしこのお方は、あなたの為に心配りをしないで建てたりはなさらない。(ユース・インストラクター 1900 年 5 月 3 日)

もし、わたしたちが、神のご用のために自分をささげているならば、神は、なんの備えもなさらないようなところへ、わたしたちをおかれることはない。(キリストの実物教訓 154)

イエスは、言い表せないほど満ちみちた神の愛をすべて開け放って、「あなたは神の同労者である」と宣言される。(手紙 1a1894 年)

真の伝道努力は家庭で始まる

「ふたりとも神のみまえに正しい人であって、主の戒めと定めとを、みな落度なく行っていた。」(ルカ 1:6)

キリストとの関係を作り上げるにあたって、新しくされた人は神が定めておられる関係に立ち帰るだけである。……彼の最初の義務は、自分の子供たち、近親者に対してである。より大きな外部のグループのために身近なグループをないがしろにすることについては、どのような言い訳も効かない。最後の審判の日に父母……は社会に送り出す責任を負っている魂の救いを確実にするために、何を言い、何を行ったかを問われる。彼らは小羊をないがしろにして、見知らぬ人々の世話を受けるままに放っておいたのだろうか。……他の人々のためになされた大いなる善は、あなたが自分の子供たちの世話をするという、神に対して負っている義務を埋め合わせることはない。あなたの家族の霊的幸福がまずはじめにくる。(世界総会冊子 2 期 1899 年)

子供たちの思いを正しく訓練し形造ることについて、母親は人間に与えられる最高の任務を委ねられている。(原稿 29,1886 年)

あなたが自分の身近にある義務を取り上げる時はいつでも、神はあなたを祝福し、あなたの祈りを聞かれる。自分の家族がそのような努力のどれにも欠けたままに放っておかれている間に、すなわち、おろそかにされることによって滅びようとしている一方、対外的な伝道活動があまりにも多くなされている。……最初の伝道活動は、家族の輪の中に愛と光と喜びが入り込むのを見ることである。わたしたちが家庭における義務をまず果してしまうまでは、何か偉大な自制あるいは伝道活動をしようと求めないようにしよう。毎朝、私は今日どのような行いをするができるだろうか、どのような優しい言葉を語れるだろうかと考えなければならない。家庭での親切の言葉は祝福にみちた日光である。夫も妻も子供たちもこれを必要としている。……できるかぎりこの世を天国とすることがすべての者の心の願いでなければならない。(ビュー・アンド・ヘラルド 1884 年 12 月 23 日)

あなたの忍耐と骨の折れる働きによって、あなた自身の家族の輪の中で、あるいは隣人の中で救われた魂は、キリストの御名に多大な栄光を帰し、あなたが中国やインドにいる魂を見つけたかのように、あなたの冠を明るく輝かせる。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 11 月 10 日)

ささいなことに忠実

「小事に忠実な人は、大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である。」(ルカ 16 : 10)

行えば、生活を快いものにする、手近にある義務が忘れられている間に、何か偉大な事、素晴らしい働きをしたいと願って、多くの時間が無駄にされている。家庭内でのキリストの教えに合致した生活は、教会内でキリストの教えに合致した生活となる。多くの人の人生を台無しにするのは、努力して大きな働きを追い求めるために、ささいな義務をないがしろにする一つの事からである。原稿 19,1892 年

多くの人が威風堂々と大海へ流れて行く広くて深い川に感嘆する。その川は賞賛する価値がある。定められた働きをしているからである。しかし、山腹から流れ出る何千もの細流がこの立派な川の水を増す手助けをしているのではないだろうか。細流は小さくて狭いというのは事実であるが、この流れがなければ川は存在し得ないので、欠くことのできないものである。細流は土地を肥沃にするという同じ目的のもとに定められた働きを行っている。畑や牧草地の間をぬって流れるその水路は、土手に一列に並ぶいきいきとした緑によってたどることができる。このようにして、それらは神のご計画を行い、世界の繁栄に寄与している。大河は山々を貫いて流れる間に小川になってしまう。しかし小川も河と同様に必要である。

教会員一人一人が教会の繁栄のために責任がある。世界は主のための働きにみちている。日毎に世話と責任という重荷がもたらされる。そして、もし割り当てられた働きをその人が怠るなら、なにか履行されるべき重要なことが損害をこうむる。(レビュー・アンド・ヘラルド 1885 年 1 月 6 日)

人生を成功させ、非常に美しくするのは、世がささいなことと呼ぶ事柄に対する意識的な配慮である。ささやかな慈善行為、ちょっとした親切な言葉、ささいな無私の行為、小さな機会を賢く活用すること、わずかなタラントを勤勉に育成することなどは神の御目に大いなる者とする。(ユース・インストラクター 1898 年 4 月 21 日)

家族の中で始まった思いやりのある礼儀は、家族の輪の外に広がり、人生における最大の幸福を作り上げる助けとなる。(教会への証 3 巻 540)

十分に果した家庭の義務

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から働きなさい。」
(コロサイ 3:23)

神はあなたに生命とそれを楽しむことができるように豊かな祝福をすべて与えて下さったので、そのかわりにご自分の律法に対する奉仕と感謝の気持、愛、そして従順を求められる。……あなたに、情欲を抑え、利己的な思いや行動を抑制し、いらいらした言葉を語らないようにと命じられる。もしこの克己が本当にあなたの真の幸福のためでないなら、イエスはこうするようにと要求されるだろうか。いいえ、このお方はあなた自身の心に平安をもたらす品性の特徴を養いたいと望まれ、あなたが他の人々の心と生活を、愛と喜びと心楽しい安らぎで明るくすることができるようにと望んでおられる。

あなた方が真に回心し、イエスの子であるなら、あなた方の両親を敬う。両親があなたに言うからするだけでなく、手伝う機会を見逃さない。これをしている時あなたはイエスのために働いているのである。イエスはこれらの気配りや思いやりのある行為をみな、ご自身に対してなされたと思なされる。これは最も大切な種類の伝道活動であり、これらのささいな日常の義務に忠実な者は、貴重な経験を得ている。……あなたの時間を何か有益な働きに費やすことによって、あなたはサタンの誘惑に対して戸を閉じているのである。イエスはご自身を喜ばせるために生きたりはされなかったのであるから、あなたもこのお方のようにでなければならないことを覚えていなさい。このことを宗教原則の一つとし、イエスに助けて下さるようお願いなさい。あなたの思いをこの方向で訓練するなら、あなたが家庭という輪の中で助け手であったように、神のみ働きの中で重荷を負う者となる準備をするようになる。あなたは他の人々に良い感化をもたらし、その人々をキリストの奉仕へと勝ち取ることができる。……

あなたが決心したことをむずかしいからとあきらめるのではなく、何度も試みなさい。キリストの奉仕の中で成功するために、同じエネルギーを用い、同じ決心をしなさい。そうすれば必ず報いがある。(ユース・インストラクター 1884 年 1 月 30 日)

家庭でのクリスチャン生活の感化

「正しい人のすまいは主に恵まれる」(箴言 3:33)

わたしたちがキリストと共にいて戴くなら、外国でと同様、家庭でもクリスチャンとなる。クリスチャンは自分の親戚や交わる人々に親切な言葉をかける。親切で礼儀正しく、愛情にみちて、思いやり深く、天の家族と共に住むすまいにふさわしくなるよう自分自身を教育してゆく。彼が王家の一員であるなら、自分が行くとしている王国をあらわす。子供たちに優しく話す。子供たちも神の相続人、天の宮廷の一員であることに気づいているからである。神の子らの間には無情な精神は宿らない。(ビュー・アンド・ヘラルド 1892 年 9 月 20 日)

あなたは自分の家族の中にいるように、教会の中にもいることを覚えていなさい。あなたは子供を扱うようにキリストを扱うようになる。あなたがキリストのような精神でないなら、神を喜ばせることはできない。立場が人を作るのではない。人を朽ちることのない命の冠を受ける価値のある者とするのは、心の内を形造られるキリストである。(原稿 21,1903 年)

神は、あらゆる人がキリストの生涯を家庭で始め、そこで生きることを望まれる。教会で、またあらゆる仕事上の取引で、人は自分の家庭にいるのと丁度同じ人である。彼が家庭で聖霊の導きに従うなら、そこで思いを取り扱う責任を理解するなら、責任ある立場にある時に同じ道をたどる。自分に対するキリストの優しさを覚えていることによって、他の人々に対する同じ優しさと愛を表わす。……

天の原則があらゆる家族の中で、あらゆる教会の教義の中で、あらゆる制度、組織、学校、また管理するあらゆることにおいて、実行されるべきである。(世界総会冊子 1901 年 4 月 3 日)

男女子供、青年は自分たちが家庭生活の中であらわすことに従って、天のはかりで計られる。家庭の中でクリスチャンである者はどこでもクリスチャンである。家庭に持ち込まれた宗教は計りしれない感化を及ぼす。(原稿 34,1899 年)

家庭での立派な態度は他の人々に感化を与える

「勇ましくしてください。……勇ましくしましょう。」(歴代志上 19 : 13)

世の救い主はご自分に心を捧げる子供たちや青年を持ちたいと願っておられる。……子供時代、また青年時代を通して、彼らは主の忠実な弟子となるであろう。幼年時代にもあなたは家庭の祝福となることができるのである。(ユース・インストラクター- 1893 年 8 月 10 日)

子供時代や青年時代であっても、命の光は暗闇の中に座っている人に輝くことができる。だから目を覚まして祈りなさい。そうすれば神の事柄において個人的な経験を得る。あなたの両親はあなたに教え、あなたの足を安全な道へ導こうとすることはできるが、あなたの心を変えることはできない。あなたは心をイエスに与えて、このお方が与えて下さった真理の尊い光の中を歩かなければならない。家庭生活の中で忠実にあなたの義務を行いなさい。そうすれば神の恵みを通して、キリストがご自分の内にあって、子供に成長してほしいと思われるように、その満ちみちた高さにまであなたは成長することができる。

子供時代、また青年時代に、あなたは神の奉仕における経験を持つことができる。正しいと分かっていることをしなさい。両親に従い、彼らの勧告を聞きなさい。両親が神を愛し畏れているなら、不死の命のために、あなたの魂を教育し、しつけ、訓練する責任が負われているのである。あなたに与えようとする助けを感謝して受けて、両親のより賢い判断による指図に、喜んで従うことにより、彼らの心を喜ばせなさい。この方法によってあなたは両親を尊敬し、神に栄光を帰し、あなたが交わる人々にとって祝福となる。(ユース・インストラクター- 1893 年 8 月 17 日)

わたしたちは子供や青年たちがこの世で幸せであることを望む。そして彼らが家庭生活を平和と祝福にみちた天にすることを望む。あなたの前に主に対する畏れを持ちながら、家庭での態度を訓練しなさい。そうすれば家から離れてもそれが習慣となるからである。……愛を大切にし、平安、クリスチャンの礼儀正しさを大切にしなさい。そうすれば天使が客となる。(ユース・インストラクター- 1886 年 4 月 14 日)

ヨブは子供たちのために犠牲をささげる

「そのふるまいの日はひとめぐり終るごとに、ヨブは彼らを呼び寄せて聖別し、朝早く起きて、彼らすべての数にしたがって燔祭をささげた。これはヨブが「わたしのむすこたちは、ことによったら罪を犯し、その心に神をのろったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつも、このように行なった。」(ヨブ 1:5)

子供たちを扱うのに二通りの方法がある。すなわち原則と結果が大きく異なる方法がある。神のみ言葉の教えに一致して、知恵と堅固に結びついた忠実と愛はこの世と来世に幸福をもたらす。義務を怠り、思慮のない放縦、青年の愚行を抑え、正すのに失敗すると、子供たちに不幸と最終的な滅びが結果として生じ、両親に失望と非常な悲しみをもたらす。……

ウズの人から不動と深い愛情についての教訓を学ぶのは、両親にとって良いことである。ヨブは自分の家族以外の人々への義務をないがしろにしなかった。他の人々の関心事に対して優しく親切で思慮深かった。また同時に自分自身の家族の救いのために熱心に骨折った。息子娘のふるまいの日の最中に子供たちが神を不快にしたのではないかと気遣った。家族の忠実な祭司として、ヨブは子供たちめいめいのために犠牲を捧げた。彼は罪のいやな性質を知っていたので、子供たちが神のご要求を忘れてしまうのではないかとその思いが、神に対して、子供たちのために仲保者となるように彼を導いた。(レビュー・アンド・ヘラルド 1881年8月30日)

神は、家庭の敬虔な感化力のゆえに心を神にささげ、人生の最高の奉仕を神に対してするために出てゆく青年たちが、わたしたちの教会員の家々から大勢集められるのを見たいと願っておられる。家庭の敬虔な教え、朝夕の礼拝の感化、神を愛し神を畏れる両親の絶えざる模範に導かれ教えられて、これらの青年たちは、自分たちの教師としての神に服従することを学んだ。そして忠実なむすこ娘として神に喜ばれる奉仕をする準備ができている。このような青年たちは、キリストの力と恵みを世にあかしする備えができている。家庭の教育 610

クリスチャン家庭の広範に及ぶ感化

「神よ、あなたはわたしを若い時から教えられました。わたしはなお、あなたのくすしきみわざを宣べ伝えます。」(詩篇 71:17)

気質、個人的な性質、品性の発達による習慣、すなわち家庭で培われるあらゆることが、人生のあらゆる交わりの中であらわれる。それに伴う傾向は同じ品性をもった思想、言葉、行動という結果になる。(教会への証 6 巻 174)

家庭の伝道はその家族だけにとどまらない。クリスチャンの家庭は生活の真の原則がすぐれていることを実証する実物教訓でなければならない。そういう実証は社会を益する力となる。真の家庭が人の心や生涯に及ぼす感化はどんな説教よりも有力であって、青年がこういう家庭から出ていくとき、その教訓を他に伝え、一段と高尚な生活原則が他の家庭に紹介され、進歩向上に導く感化が社会に及ぼされるのである。(ミニストリー・オブ・ヒーリング 326)

家族の者がみな礼儀正しく親切なクリスチャンである家庭は、広く有益な影響を及ぼす。ほかの家族もこうした家庭が得た結果を認め、示された模範にならって今度は自分の家庭をサタンの影響から守るようになる。神の天使たちは神のみこころが支配している家庭をたびたび訪れる。神の恵みの力のもとで、このような家庭は、疲れ果てた旅人にとって力を回復する所となる。警戒し見守ることによって、自己が主張されないように押さえられる。正しい習慣が形造られ、他人の権利が注意深く認められる。愛によって働く信仰、魂をきよめる信仰が家庭全体を指導し支配する。神のみことばに主張されている兄弟愛の原則は、このような家庭のきよめられたふんいきのもとでいつそう広く認められ服従される。AHp23, 24

キリストの生涯が模範としてわたしたちの前にある。だから、人が神と密接に結びつくというのは、同情深い天使のように、他の人々の欠乏に仕える時である。家族や付き合う人々を幸福にするのが、キリスト教の特質である。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 2 月 17 日)

神はわたしたちを御愛で満たされる

「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである。そうすれば両方とも保たれる。」(ルカ 5:38 欽定訳)

わたしたちはイエスのうちにある真理を、あるがままに他の人々に提示できるように、その真理を知り、正しく理解できるよう熱心に求めなければならない。自分自身の魂の価値を正しく判断する必要がある。そうすれば自分のとる行動に関して、現在のように思慮分別を欠くことはない。わたしたちは神の道を知るために、この上なく熱心に求めようとする。……そして絶え間ない祈りによってわたしたちはキリストの思いを持つ者となり、キリストに似た者に形造られるようになる。わたしたちがキリストの形に変えられるのは、目をしっかりとこのお方に据えつつ、イエスを見つめ、その麗しさを眺めることによる。……

終わりは近い。わたしたちは無駄にする時間はない。教会と世の前にイエスを掲げながら、光がはっきりとした明瞭な光線となって、神の民から輝き出なければならない。用いられる器は、神が自分に知らされた真理の光を喜んで受け入れる魂である。これらの魂は、世に真理の知識を伝える神の代理者である。キリストの恵みを通して神の民が新しい皮袋となるなら、神はこれに新しい酒を満たされる。神は追加の光をお与えになるので、古い真理は回復され、真理の骨組の中に戻される。そして働き人が行くところ何処でも勝利を得る。キリストの大使として、彼らは聖書を探り、偽りというゴミの中に隠されている真理を探し求めなければならない。そして受け入れた光の一筋一筋は他の人々に伝えるべきである。一つの関心が普及し、一つの主題、すなわちキリスト我らの義が他の主題をすべて飲み込む。……

「わたしが主であって、地にいつくしみと公平と正義を行っている者である。……わたしはこれらの事を喜ぶと、主は言われる。」これがわたしたちの教会全体……に持ち込まれる必要がある。神はあらゆる魂が初めの愛に帰るようにと望んでおられる。すべての者が、信仰と愛という金を持つことを望んでおられる。そうすることによって、それを必要とする他の人々に分け与えるために、彼らがその宝から引き出すことができるからである。(ビュー・アッド・ヘルド 追加 1890 年 12 月 23 日)

神は苦悩と試練を許される

「わたしは苦しまない前には迷いました。しかし今はみ言葉を守ります。」(詩篇 119:67)

神はご自分の民の聖潔を最高に価値あるものとみなされるので、個人個人に、家族に、教会に反対が訪れることを許される。ご自分の民が自分の危険を見て、悔い改め、神のみ前に心をへり下らせることができるためである。神は背教した者を優しく取り扱われる。彼らに許しを告げ、キリストの義の衣でおおわれ、ご臨在をもって彼らに誉れをお与えになる。

こうして贖罪の大いなる日に、自分の罪を告白し、違反を許して下さる神の憐れみと愛を正しく認識することはわたしたちの義務である。正道をふみはずした道からわたしたちを救うために、主が与えて下さった警告を感謝しよう。わたしたちの生活に変化をあらわすことによって、主の慈しみを証しよう。主の道に歩んでいないことを警告して、主に譴責を送っていただいた者が、悔い改め、へりくだりと心の悔悟をもって告白をするなら、主は必ず再び好意をもって受け入れて下さる。……

大試練の時は目前である。神のみ働きを前進させるにあたって、わたしたちの能力と賜物をすべて用いるのは今である。主がわたしたちにお与えになった力は建設するために用いるのであって、失望したり、取り壊したりするためではない。……教会のあらゆる時代に、神に任命された使命者は、真理のために非難と迫害に身をさらしてきた。しかし神の民が行くように強いられる所はどこでも、愛された弟子のように無人島に流されたとしても、キリストは彼らが何処にいるかを知っておられ、平安と喜びで彼らを満たしつつ強め祝福される。……

キリストは地上における伝道の初めと終りに宮を清められたように、ご自分の教会を純潔にされる。このお方がテストと試練でご自分の教会にもたらされるすべてのことは、世界の至る所に十字架の勝利をもたらすために、ご自分の民がもっと深い敬神ともっと力強さを得るためである。このお方はすべての者がなすべき働きを持っておられる。(世界総会冊子 3 期 1900 年)

迫害は福音を広める助けとなる

「わたしはキリストのためならば、弱さと侮辱と、危機と迫害と行き詰まりとに甘んじよう。」(コリント第二 12:10)

どの時代にも神が選ばれた使者たちは、ののしられ、迫害された。しかしその苦難を通して神の知識が広まったのである。キリストの弟子たちはみなこの列に加わり、預言者たちと同じ働きを推し進めなければならない。そして敵は真理に逆らっては何一つなし得ず、むしろ真理のためになっていることを覚えるべきである。侮辱のことがばが浴びせられても、神は真理が前面に出され、検討と論議の主題になるよう意図しておられる。人々の心をゆり動かさなければならない。あらゆる論争、あらゆる非難、良心の自由を束縛するあらゆる企ては、ともすれば眠りをむさぼりがちな人心を目ざめさせる神の手段である。

このような結果は、神の使者たちの生涯の中に何度もみられた。かの高貴で雄弁なステパノがサンヒドリン議会の扇動によって石で打ち殺された時、福音事業は何らの損失もこうむらなかつた。ステパノの顔に輝いた天の光と彼の臨終の時の祈りに聞かれた神のようなあわれみなどは、そこに立っていた頑迷な一議員の罪を指摘する鋭い矢のようなものであつた。こうして迫害者のパリサイ人サウロは、異邦人や、王たちやイスラエルの子らにキリストの名をもたらず選びの器となつたのである。それからずっと後になって、年老いたパウロは、ローマの牢獄からこのように書いた。「わたしの入獄の苦しみに更に患難を加えようと思って、……一方では、ねたみや闘争心からキリストを宣べ伝える者が(いる)。……見えからであるにしても、真実からであるにしても、要するに、伝えられているのはキリスト(である)」。

パウロの投獄によって、福音は広まった。カイザルの宮殿の中でさえ魂がキリストへみちびかれた。「神の変ることのない生ける御言」の「朽ちない種」は、それを撲滅しようとするサタン働きによって、人々の心にまかれる。神の子らをそしり、迫害することによって、キリストのみ名があがめられ、魂は救われるのである。(祝福の山 41-43)

正しい教会員

「正義は平和を生じ、正義の結ぶ実はとこしえの平安と信頼である。」(イザヤ 32:17)

「あなたがたは、その実によって彼らを見分けるであろう。」柔和で静かな内なる飾りは非常に尊い。真のクリスチャンの生活では、外面の飾りは常に内なる平安と聖潔に調和している。このようにして、教会は教会員の義のうちに設立される。神の民はしっかりと、また不動の信仰を示さなければならない。聖書が彼らの基準である。天からの豊かな恵みの流れは、他の人々に分け与えるために光を生み出す。真理は全力を尽くして宣布されねばならない。忠実にこの働きを行う者は、神の戒めを守る者であり、まことに神と共に働く者と認められるであろう。

「義のわざは平和を生じ、その結果はとこしえの平安と信頼である。」教会歴史の初めから終りまで、次の招待に彼らが耳を傾けるなら、キリストはこれらのみ言葉が表わすそのままのご自分の民にとってのキリストとなってください。「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。……そして……わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしに学びなさい。そうすればあなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。キリストはみ民にとって、命と力強さ、能力と力、知恵と聖潔であられる。(世界総会冊子3期1900年)

あなたがキリストのご要求に応じて、その愛がしみ込み、その完全に満たされるなら、子供、青年、また若い弟子たちは、実際の信心を何が構成しているかについての印象をもって、あなたを見、あなたはこのようにして神への従順の道に、彼らを導くでだてとなることができる。あなたはそのとき、神のテストに耐える影響力を及ぼし、あなたの働きは朽ちることがないので、金や銀や宝石に比べられる。……

宗教があなたのために何をすることができるかを知らうとして、あなたを見ている人がたくさんいる。あなたが神のお与えになった働きに忠実であるなら、正しい印象を与え、義の道に魂を導くであろう。(ビュ・アンド・ワルド 1888年10月16日)

なすべき事に熱心になる

「わたしは……今日の皆さんと同じく神に対して熱心な者であった。」(使徒行伝 22:3)

民としてわたしたちはタラントがないわけではない。もし男女が神に自分を捧げるなら、神がその努力を受け入れて下さる人々がわたしたちの中にいるが、犠牲的精神を持っている者は非常に少ない。ある人々は自分の財産を快く差し出し、これをしたのだからこれ以上自分に要求されることはないと思う。彼らはこれをしたのだから、それ以上特別の犠牲を払うつもりはない。金銭は出て行くかぎり良いものである。しかし個人的努力が伴わなければ魂を真理とへ改心させる方向に進むのはほんのわずかである。神はあなたの金銭を求めるだけでなく……あなたを求めておられる。あなたは自分の財産を捧げているけれども利己的に自分自身は与えずにいる。ぶどう畑にいる熱心な一人の働き人は、その働きをせずにはすまず多額の金銭よりも価値がある。あなたがその働きの価値を正しく理解し、その働きの要求が何であるかを悟るなら、あなたは自分自身を捧げ物としてささげるようになる。

多くの人は、しようとすればできるはずの仕事に対する義務に十分気づかないので犠牲的精神を発揮せず、発揮しないので働かない。神は、同胞の魂に関する責任を彼らに負わせておられる。彼らはキリストと一致して良い働きをすることができるので、彼らがすることができながらしなかった、魂への善に対して責任を取るようにと命じられる。……

だれも働くことのできない夜がすぐに来る。サタンは熱心に自分の働きをし続けている。彼は自分の目的を果すのに一度失敗するともう一度試みる。彼の計画をためし、魂をわなにかけるために、さまざまな誘惑をもたらすために不屈の努力をする。彼は魂を(キリストから離して)完全に一人にするまで決して思いとどまることはない。キリストに従う者が魂を救うためにする熱心で忍耐強い努力が、彼らを永遠の滅びへと欺くサタンの努力と同じ位であれば、わたしたちは今一人しか見ないところに、真理を喜んで受け入れる何百人もの人を見るであろう。(世界総会冊子第4期 1899年)

祈る者のそば近くには、神の慈悲がある

「あなたの祈や施しは神のみ前にとどいて、おぼえられている。」(使徒行伝 10:4)

真のクリスチャンの慈悲心は感謝にみちた愛という原則から流れ出る。キリストに対する愛は、このお方があがなうためにこの世に來られた、その人々に対する愛と調和しない限り存在することはできない。キリストに対する愛は人の感情をすべて支配し、この愛が全エネルギーを配分することの基調をなす原則でなければならない。贖いの愛が人の心に存在することのできる優しい愛情と自己犠牲による献身をすべて目覚めさせるべきである。これが実情である時、利己心を砕いたり、休眠状態の同情心を目覚めさせて、真理の尊い働きのために善意にみちた供え物と呼ばけるために、心を揺り動かす訴えは不必要となる。……

正しく導かれた慈悲心は人の知的、道徳的エネルギーを引き出し、神の働きを推進し、貧しい人々を祝福するにあたって、彼らに最も健全な行動を取らせる。財産を持っている者が、自分の費やす金銭一つ一つに対して神に釈明する必要があることに気づくなら、自分が想像している欠乏は、はるかに少ないものとなる。良心が生きているなら、食欲の満足に、また自尊心や虚栄、娯楽に不必要な金銭を充てていると良心は証言し、主のみ働きのためにささげられるはずの金銭を浪費していると報告する。……

人生の長さや幸福は地上の財産の量によるのではない。……

神のみ働きを支えるについて、最も組織だっており、心の広い教会は靈的に最も榮えている。キリストに従う者の内にある真の寛容は主人である方の関心と自分の関心を同一のものとみなす。……世俗とむさぼりは神の民の活力を食い尽くす。彼らは自分の財産に対する要求が増すのは神の憐れみであることを理解しなければならない。祈りのそば近くには、神のみ使いの慈悲がある。このお方はコルネリオに「あなたの祈りや施しは神のみ前にとどいて、おぼえられている」と言われた。(レビュー・アンド・ヘラルド 1874 年 12 月 15 日)

神の政府の代表者

「だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。」（コリント第一 15：58）

キリストの教会は清らかで純潔であり、神のために聖別されていなければならない。教会員は天の政府の代表者として、世の前に立つ。彼らは時が続くかぎり、憐れみの事業へ乗り出す。

神のみ言葉の真理を信じると公言するすべての者が、真理を知らせることを神は望んでおられる。彼らの辛抱強い忠誠は豊かに報われる。「国と主権と全天下の国々の権威とは、いと高き者の聖徒たる民に与えられる。」

それだからよい行いにうみ疲れないようにしよう。自分の心を完全に偉大な医療伝道者のみ言葉の教えに委ねよう。イエス・キリストについての知識を伝えることにおいての、わたしたちの熱心さと力は、わたしたちがそのメッセージをどのように信じているかにかかっている。「全力をそそいで主のわざに励み」「神の同労者」とならねばならない。

日々の生活でわたしたちは新しい義務に直面する。一つの義務を果すのは次の義務の始まりである。わたしたちの人生は主に対する厳粛な奉仕のうちに過ぎてゆくべきである。わたしたちは主の僕である。キリストの教会員は人生における奉仕の模範、わたしたちの大いなるお手本であられる方に対する完全な従順の模範とならねばならない。わたしたちの働きは日々、わたしたちの幾つかの能力に応じて委ねられる。信心深い、また注意深い奉仕のうちに、わたしたちが神の姿にかたどった品性、神に喜ばれる品性を完成すると、わたしたちの主なる救い主イエス・キリストの永遠に続く王国に入るのにふさわしい者となる。（原稿 57,1907 年）

主はご自分の民を通して、ご自分の恵みと力をあらわそうと待っておられる。……わたしたちは個々に神と共に歩み、また語らなければならない。そうすればキリストの福音の聖なる感化が、その尊いままでわたしたちの生活の中にあられる。（教会への証 6 巻 253）

どのように働くべきか

「ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。」(ペテロ第一 3:15)

キリストのみわざを日々行うことによって、このお方のみ旨を行うことが楽しみとなる。キリストは神の律法を実現させるためにこの世に來られ、すべてについてわたしたちの模範となってくださった。このお方は恵みの御座と、見せびらかしや自尊心、虚栄に満たされた熱意のないおびたしい礼拝者との間にご自身を置かれた。そして単純な言葉である真理を教えることによって、靈的礼拝の必要性を人々に印象づけられた。その教訓は印象的で美しく、重要性に富んでおり、しかも非常に単純であったので子供でも理解できた。このお方が示された真理は非常に深かったので、最も賢く熟達した教師もその真理を論じ尽くすことが決してできなかった。目には見えないお方を見ているように働く人々は、いつも単純さを持ち続け、偉大な真理の力をもって、最も平易な言葉を悟る。(原稿 33 日時不詳)

青年は自分の単純さを維持し、現代の何か刺激的なこと独創的なことを求めないで、主の教訓を教えるなら、キリストのための力となることができる。しかし最も単純な真理を格調高く、非凡な言葉で語ることは、魂をキリストへ勝ち取る力を真理から奪うことになる。長々しい言葉や盛り上がるような雄弁を用いることが成功に不可欠なわけではない。あなたが必要としているのは、神の事柄における生きた経験であり、失われた者に対してキリストの愛を示すことである。……心がイエスの愛で燃えているなら、あなたは他の人々にその愛を表現し、キリストの証人となるのである。(ユース・インストラクター 1893 年 5 月 4 日)

わたしたちは福音を隠したり、キリストの十字架を美しいバラのような言葉で飾り立ててはならない。そうすることによって真理の教えは効果がなくなる。(原稿 39, 1895 年)

自然の単純さで語られた、神の息子娘の真実で正直な話は、キリストとその愛に対して長く閉じられてきた心の扉を開く力を持つのである。(キリストの実物教訓 211)

隣人に善を行う

「あなたの手に善をなす力があるならば、これをなすべき人になすことをさし控えてはならない。」(箴言 3:27)

救い主は熱心に、喜んで、わたしたちを神の家族の一員として迎えようとしておられるので、神に近づく時に用いる最初のことばとして、わたしたちと神との関係を保証する「われらの父よ」ということばを述べておられる。……神を父と呼ぶことによって、わたしたちは神のすべての子らをわたしたちの兄弟と認めるのである。わたしたちはみな人類という大きな織物の一部であり、同じ家族の一員である。祈りのうちに、わたしたちは自分たちのことだけでなく隣人をも含めるべきである。自分のための祝福だけを求める者は、正しい祈りをささげているとは言えない。(祝福の山 129-131)

わたしたちは最も強い絆で主に結びつけられているので、み父の愛は子として最もふさわしい愛情とあふれるばかりの感謝の気持を引きおこす。神の律法は決して変ることのない公正にその基礎があり、律法を守る人々の幸福を増進させるものとなっている。(ビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 9 月 18 日)

キリストが山上でお教えになった、信仰についての教訓の中には真の宗教の原則が表わされている。宗教は人を神との個人的な関係を持つようにさせるものであり、離れさせるものではない。なぜなら天の原則は人間を助け祝福することができのために、実行されるべきだからである。神の真の子は心を尽くしてこの方を愛し、自分自身のように隣人を愛し、同胞に対して関心を持つ。真の宗教は、心に働く恵みの働きであり、生ける川に流れ込む泉のように、良い働きの中に、命をあふれ出させる。宗教は単に瞑想と祈りで成り立つわけではない。クリスチャンの光は良い働きの中で発揮され、このようにして他の人々に認められる。宗教は仕事の世界から切り離されるべきではない。人が真に神とまた天国とつながっているなら、天国に宿っている精神が彼のすべての言葉と行動に感化を与える。彼は自分の働きの中で神に栄光を帰し、他の人々を神をあがめるようにと導く。(ビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 9 月 18 日)

愛をもって労する

「互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」(ヨハネ 13:35)

わたしたちは神の同労者でなければならないことを理解するのを、神が助けて下さるように。天と共労者となることを今この世で始めよう。……あなた方は家族のために、友人や知人のために一致して働こうとしないのだろうか。(原稿 85, 1909 年)

キリストの若い弟子一人一人に、キリストの他のすべての弟子に対する無私の愛を持たせなさい。……特別な親切が示されておらず、好かれていないあわれな子がいないかどうかを見て、その子をあなたの無私の配慮をする対象としなさい。特別に魅力的な人々は、友達を失うことはないが、それと同時に容姿が劣っていたり、内気で交際するのがむずかしい人々も品性の良い特徴を持つことができるように。彼らもキリストの血で買われた者である。(ユース・インストラクター 1893 年 5 月 25 日)

わたしたちは日タイエスがどれほどの助けを与えて下さっているかに気づく必要がある。すべての者に、自分たちがイエス・キリストの共労者になることができることを理解させなさい。あなた自身が神に慰めていただいているその同じ慰めをもって、他の人々をあなたが慰めることのできる、キリストからの恵みを受けるのはあなたの特権である。……万物の終りが来る時には果しておきたいと願っている自分の働きを、一人一人にしようと努めさせなさい。隣人を手伝わせなさい。このようにしてあなたはこの世で小さな天国を持つことができ、神のみ使いは正しい印象を与えるために、あなたを通して働く。……キリストはあなたをご自分の僕として用いたいと願っておられる。できる場合はいつでも手伝おうとしなさい。神の恵みがあなたの上に豊かに宿ることのできる最上の気質を養いなさい。

青年も大人も、癒すお方、情け深いお方、自分たちの必要を理解し、決して過ちを犯すことのないお方として、神を見るよう学ぶことができる。あなたの人性は生きた信仰によってキリストの神性をしっかりとつかむことができるので、天の原則を……実行するのを学ぶことができる。これはあなたをすべての人にとっての祝福とする。(原稿 87, 1909 年)

信仰の擁護者

「あなたがたは聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために、熱心に戦わねばならない。」(ユダ3 欽定訳)

あらゆる種類の犯罪が世界中に増えており、地はその住民のもとに汚されている。神の永遠にわたるご計画はほとんど成就しており、万物の終りは近い。神の真理についての知識を持つ人々がインマヌエルの君の血染めの旗のもとに整列すべき時は今である。彼らは聖徒たちに伝えられた信仰の擁護者として立たねばならない。神の戒めを守りイエスの信仰を持つことが何であるかを、世にあらわさねばならない。暗闇を歩む人々の道に、自分たちの光をはっきりと強力に輝かせなさい。キリストの兵士は互いに協力して真理に忠誠を尽し、エホバの律法を弁護しなければならない。

はっきりとした神の教えから離れる者は誤りを支持し、キリストの兵士に敵対する立場をとる。彼らは神の真理に反対し続け、過酷な手段によって良心に誤りを強制し続けることにより、自分たちの指導者が誰であることを示す。真理の側に確実に立つことは今なすべきことである。そして神は一人一人にそれぞれの感化力を与えて下さったのであるから、彼は神の栄光と同胞の益のためにそれを働かせるべきである。キリストの忠実な家令は一人といえども、今のこの時代に怠け者であったり、単に自己のために生きることに甘んじたりはしない。キリストと交わりを持つ人々は、自分の助けや模範、また感化によって益を受ける魂が至る所にいることに気づく。イエスがそのために死なれた人々を救うために、自分を通してイエスが働かれるその代理者に自分になることができることに気づく。これが第三天使のメッセージを信じると公言するすべての人の経験とならねばならない。青年も大人もキリストの宗教の中に、豊かで喜びに満ちたありあまるほどの経験を持つべきである。(ユース・インストラクター 1893 年 6 月 29 日)

他の人々を助けることにより祝福される

「物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される。」(箴言 11:25)

多くの人にとって人生は苦しい戦いである。彼らは自分の無力を感じ、みじめで不信仰である。彼らは自分が感謝するほどのものは何も持っていないと考えている。これらの苦闘し、よるべのない多くの者にとって、親切な言葉や、同情のまなざし、感謝の表現はかわきにあえぐ魂への一杯の冷たい水ようになる。一つの同情の言葉、一つの親切な行為は疲れた肩に重くのしかかっている重荷を持ち上げる。無我の親切から出るすべての言葉や行ないは、失われた人類に対するキリストの愛の表現である。

あわれみ深い者は「あわれみを受けるであろう。」「物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される」。慈悲深い心にはすばらしい平和があり、自分を忘れて他の人の益のために働く生涯には、祝福された満足がある。心に住み、生活に現われる聖霊は、かたくなな心を和らげ、同情とやさしさをよび起こす。あなたは自分がまいたものを刈り取るのである。(祝福の山 28, 29)

地が揺れ動き、小屋のように動かされる時がくる。しかし神の働き人の思想、目的、行動は、今は目に見えなくても、最後の審判の日にあらわれる。今は忘れられている事柄がその時には是認か有罪かのどちらかの証人となってあらわれる。

愛、礼儀正しさ、自己犠牲、これらは決して失われることはない。神に選ばれた者が死ぬべき体から不死へと変えられる時、彼らの優しい言葉と行為は明らかにされ、永遠にわたって保たれる。しかしながら、どれほどささいなものであっても無我の奉仕ではない行動は永遠に失われてしまう。キリストの着せられた義の功績を通して、そのような言葉や行為の香りは永遠に保たれる。(原稿 161, 1897 年)

良い行いをするよう造られた

「わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。」（エペソ 2：10）

あなたが夢想だにしなかった、イエスのための働きをなす機会があなたにある。クリスチャンは神の奉仕に活動的であり、親睦の集まりに出席して、その出席が他の人々を励ますものとなる、キリストのような男女である。宗教は本来働きの中にあるのではなく、宗教が働くのであり、眠っているのではない。イエスの純粋な宗教は慈愛、愛、自己犠牲という流れがそこからあふれ出る泉である。……心のうちにあるキリストの愛をもって、唇はこのお方をたたえ、そのみ名をほめたたえる。キリストの愛に満たされた魂はそうしないではいられない。

神の息子娘は、自分が天の家系であることを示さなければならない。神の御目に偉大な人は、群衆のただ中であって、思いわずらいと財政的な窮乏のただ中であって、自分の魂を汚れないままに保ち、世の汚れによるしみもしわもない人である。祈りと信仰によって神に堅く寄り頼むことにより、魂は完全な親切、愛、慈しみをもって、なお道徳的に自立して強く立つ。社会の誘惑に立ち向かい抵抗し、神との交流を保ち、あなたの魂と神との間の交わりは、あなたが自分の社会関係を通して、天が授けなければならない最良の祝福を、他の人々に送ることを可能にする。……的確で公平な正義がそのすべての交際関係に見られるが、その義務はここ地上で終るのではない。神はもっと多くのことを要求される。キリストが魂を愛されたようにあなたも愛するようにと要求される。苦しんでいる人、過ちに陥っている人、サタンの誘惑に支配されている人々に同情するよう要求される。不幸な人に親切と好意を示し、他の人々の感情に寛大な配慮をするようにとあなたに要求される。……あなたが信心深い模範の記録を残す一方、あなた自身のために静かで聖別された平安を確保するために、世との交流や交際関係を非常に秩序だてなければならない。（手紙 7, 1883 年）

貧しい人をかえりみる者を神は祝福される

「貧しい人をかえりみる人はさいわいである。主はそのような人を悩みの日に救い出される。」(詩篇 41:1)

わたしたちは神の奉仕をする神の僕である。人生という巧みな織物に利己主義の糸を織り込んではいない。なぜならこれが模様をだめにしてしまうからである。しかし、思慮のない人間はなんとそれをしやすいのだろうか。彼らが神の苦しんでいる者たちを親身になって思いやるのがどれほど少ないことか。貧しい人々が彼らの周りにいる。しかし彼らは、財源もなく苦しみの中に残されていながらその必要を言わない未亡人や孤児を、思いやりもせず、無関心に、無頓着に通り過ぎていく。もし金持ちが必要な人々のために、少しの基金を銀行に預ければ、なんと多くの苦しみが除かれることだろうか。神の聖い愛は、他の人々の世話をすることが自分の義務であると分かるように一人ひとりを導かれる。このようにして慈悲の心が生き続けるのである。……神はわたしたちをご自身の助け手とする事によってわたしたちに誉れをお与えになる。つぶやく代りに、とても親切な、憐れみ深い主人のもとに仕える特権を得ている事を喜ぼう。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1118, 1119)

イザヤの次の言葉を聞きなさい。「さすらえる貧しい者をあなたの家に入れ、裸の者を見てこれに着せ……そうすればあなたの光が暁のようにあらわれ出る。あなたの魂は水の枯れることのない、潤った園ようになる。……」

私は金持ちの未亡人の近所に住んでいた貧しい人の場合を覚えている。……この未亡人は手入れの行き届いた果樹園を持っており、枝や若枝は垣根のそばに切り捨てられていた。この貧しい人は婦人に、この雑木をたきぎとして使うためにもらえないかと頼んだ。しかし彼女は、「私はそれをとっておきたい。灰が私の土地を肥やすから」と言って、拒んだ。私はこの婦人の家のそばを通る時いつも、この出来事を考える。地面がその貧しい人を拒んで肥えた地になるとは。(ビュー・アンド・ワールド 1884 年 12 月 23 日)

人類の必要を正しく理解するのに失敗する時、最も高価な捧げ物である、神の助け手になるのを怠りながら、最も大きい寛容をあらわすのは神の御目に嫌悪感を起こさせる。(手紙 8、1901 年)

真の幸福が見出されるのは、奉仕の生活の中でだけである。(ビュー・アンド・ワールド 1907 年 5 月 2 日)

全世界へ出て行くようにと命じられる

「そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」(マルコ 16 : 15)

主は青年が神のみ働きを行うための能力やタラントを彼らに与えておられる。愛する青年方よ、あなたは主に自分自身を捧げようとしているかとお尋ねしたい。あなたは、主がするようにとあなたに委ねておられる仕事にたずさわる用意ができているだろうか。イエスは弟子たちに「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」と仰せになった。この命令にもかかわらず、あなたは神の勧告に従うかわりに自分の好みの命じるままに時間とエネルギーを使うのだろうか。……

救われなければならない魂がある。しかし感化力というタラントを浪費するなら、あなたは他の人々の救いのために働いて、神の同労者になることはできない。神はあなたが持っている感化力の一点にいたるまで正しく用いることを望まれる。このお方は、天使と協力するようにと大いなる光をお与えになった者としてあなたを召される。大いなる光と尊い能力を持っている者には、その感化力が永遠に語ることのできる大きな分野がある。しかし天から豊かに授けられている者が、賜物を神の奉仕に用いず、自己と世への奉仕に悪用するなら、頑強に拒んだその光に比例して罰を受ける。神は青年を、世に分け与えるべき真理の保管者とされた。……キリストは真心をこめた真面目な僕、誘惑や反対によって自分の義務ある立場を離れたりしない僕、すなわち失敗したり落胆しない僕を召しておられる。あなたはこのお方にあなたの名声を捧げるのだろうか。あなたは光を担う人々の中にいるのだろうか。永遠の滅亡への道を進んでいる多くの人の足を止めるために、キリストの代理者として従事するために、自分自身をこのお方に捧げるのだろうか。(ユース・インストラクター 1892 年 11 月 17 日)

その働きは町から町へ、国から国へ、国民から国民へ、絶えず前進し、上に向かって進みつつ、確立し、強められ定着しなければならない。(世界総会冊子 3 期 1900 年)

神の証人

「主は言われる『あなたがたはわが証人……である。』」（イザヤ 43：10）

「主は言われる『あなたがたはわが証人……である。』」神の証人と呼ばれるのはわたしたちの特権であることを神に感謝する。だからわたしたちが証人であるなら、キリストのために語り、同胞の中でこのお方を掲げなければならない。同胞のどれかの熱心や宗教上の熱意がさめていくのを見る時、わたしたちはそのような人を助け励まし、その人が主の真の証人でいられるように、共に祈り、またその人のために祈らなければならない。……

あなたは神が魂に語りかける代理者とならねばならない。尊い事柄があなたの記憶に刻まれ、イエスの愛にあふれる心で、いきいきとした関心と重要な言葉を語る。あなたの単純さと誠実さは最も力強い言葉であり、あなたの言葉は銀の彫り物に金のりんごをはめたような言葉として、天の書に記される。神はそれらを天来の感化という癒しの洪水とし、確信と願いを目覚めさせられる。そしてイエスはあなたの祈りに対して仲保を加え、罪人のために聖霊という賜物を求めて、これを彼の魂に注がれる。そしてそこには神のみ使いたちの間で、悔い改めた一人の罪人のために喜びがある。（ユース・インストラクター 1893 年 5 月 4 日）

すべての働きにまざった働き、すなわち他のすべてにまざって、魂のエネルギーを引き出し、没頭させる仕事は、キリストがそのために死なれた魂を救う働きである。これを生涯の主なまた重要な働きとしなさい。あなたの特別な一生の仕事としなさい。この広大で気高い仕事でキリストと協力し、自国のまた外国の伝道者となりなさい。自国でもあるいは魂の救いを求める遠く離れた地方においても働く用意をし有能でありなさい。……。ああ、そのような青年や大人が完全に神に改心すれば、自分のそばにある義務を取り上げ、神の同労者となることを良い機会と考えて働くのだが。このことが実現して、群衆の声が、暗闇から驚くべきみ光に招き入れて下さったかたを賛美するとよいのだが。（ユース・インストラクター 1893 年 5 月 4 日）

福音宣布のために惜しまず与える

「あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ。」(箴言 3 : 9)

あなたは誤りと暗闇の中にいる人々に光と真理を伝えるために、名誉ある器となるよう神に選ばれているのではないのだろうか。真理の救うメッセージはあなたのところにきた。だからキリストの精神を受け入れるなら、あなたは危機に陥っている魂に対する愛を持つはずである。(ユース・インストラクター 1893 年 6 月 29 日)

人は地上の利益のために陸と海を巡り、自分の目的を達するために欠乏や苦しみに耐える。けれども天の引き付ける力からは離れ、永遠の富に注意を払わない。一般的に貧しい人々は普通、神の働きを最も支える人々である。彼らは自分の持つ少しのものに物惜しみをしない。絶え間ない気前のよさで自分たちの物惜しみをしない心を強めている。自分の支出が収入に近づくと、彼らの地上の富に対する熱情は強まる余地がなくなる。しかし多くの者は、地上の富を集め始める時、ある一定の額を持つことができる前に、どれ位長くかかるかを計算し始める。自分自身のための富を蓄積するために、心配して、神に対して富む者となるのに失敗する。(ビュー・アンド・ヘルド 1874 年 12 月 15 日)

どのような仕事をしたとしても神に栄光を帰す方法であなたの働きをなすことがあなたの目的となるべきである。あなたが得るものはすべて、天の銀行に投資する資本として見なさねばならない。財産や時間またキリストのために魂を勝ち取る能力、暗闇の中に座っている人々に光を送る能力をささげることがあなたの喜びとなるべきである。(ユース・インストラクター 1893 年 6 月 29 日)

主は、天からの賜物を受けた者たちの努力とささげ物によって、光と真理が地に行きわたるようになることをお定めになった。神は、天使たちを、神の真理の使者になさることもおできであった。シナイ山から律法を宣言なさったように、ご自分の声で、みこころを人に知らせることもおできであった。しかし、神は無限の愛と知恵によって、人間を召して、神ご自身の共労者となし、彼らを選んでこの働きをおさせになった。(人類のあけぼの下巻 163,164)

世の光

「あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。」(マタイ 5:14)

わたしたちの義務は、キリストの生涯から輝き出る光の中で眺める時にのみはつきりと見え、また正しく理解できる。太陽が東からのぼって、世界を光で満たしつつ西へと進むように、キリストに真に従う者は世に対する光となる。この人は暗闇にいる人々が、その人から輝き出る光線によって明るくされ、あたためられるようにと、明るく輝く光として、世の中に出て行く。キリストはご自分に従う者に、「あなたがたは世の光である」と仰せになる。(ビュー・アンド・ヘラルド 1874 年 12 月 15 日)

希望にみちて働かない人々は疑いという雲の下に自分自身を置き続ける。敵はまだ死んでおらず、地上歴史の終りに近づけば近づくほど、天の光が、他の人々に希望と励ましと勇気をもたらすために、言葉と行為であらわされないように、疑いの雲の下に魂をとどめておくため、サタンの代理人はますます努力を怠らなくなる。……

世は失望とあせりに満たされている。「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい」とのみ言葉があなたに語られている。正しい目的をもって、また純粋な心からの楽しい希望からくる保証をもって語られた、真理に賛成する言葉は、天使を喜ばせる。主はわたしたちが霊的な考え方をし、それによって、わたしたちが自分の人生で神のご計画の成就を見ることができるとを望んでおられる。わたしたちは神がしたいと願っておられる働きを成し遂げるにあたって、神の同労者とならねばならない。自分のいる所ではどこでも光を反射しなければならない。(手紙 348, 1908 年)

神の恵みが信者の言葉と働きにあらわされる時、光は暗闇にいる人々にむかって輝き出る。唇が神を賛美して語っている間に、手は滅びゆく人々を助けるための善行に差し出されるであろう。(特別な証シリーズ B, NO.10, p.11)

失われた者を救うためにキリストと共に働く

「家に帰ってきて友人や隣り人を呼び集め、『わたしと一緒に喜んでください。いなくなった羊を見つけたから』と言うであろう。」(ルカ 15:6)

イエスがこの言葉を語られた時、一団の人々に話しておられたが、そのうちの多くの人々はパレスチナにおける羊飼いの生活がどのようなものであるかを経験によって知っていた。そのあたりにいる群れは平らな囲いのある牧草地ではなく、丘の斜面やごつごつした岩、また絶壁の間で飼われていた。……

盗人や狼から守らなければならないという危険が常にあった。時々羊は群れからさ迷い出るので、羊飼いは、一頭でも失っていないかと、たびたび数を数えた。自分が世話をしている羊すべてについて厳密な報告をしなければならないからである。……羊飼いの生活は危険にみちている。彼が信頼できる羊飼いなら、不注意であつたり、自分の安楽を求めたりしないで、嵐と大風の中でも迷った羊を探す。……

これが真の羊飼いが失われた罪人を取り扱われる方法である。このお方は罪人の後を追いかけて、危険や克己、自己犠牲をいとわない。罪という重荷を負った魂に悔い改め、救い、平安、休息そして救い主の愛のうちにいる幸福をもたらすために専心される。だから、ご自分のもとへやってくるすべての人を受け入れる用意ができており、またそうしたいと願っておられるイエスのところへ、個人的な努力によって、また機転や親切によって連れてくることのできる人が、だれかいなかどうかと考えることは、自分の心にイエスの愛を経験しているすべての人の特権である。わたしたちはみな、個人的努力を通して多くのことができる。イエス・キリストの同労者となることができる。(ユース・インストラクター 1886 年 4 月 28 日)

人生は厳粛である。あなたには働くべき大きな分野があるので、失われた羊を辛抱強く探すことは、あなたが自分の時間を費やすのに最も効果的な方法である。……あなたが一人の魂に救いの感化を及ぼすことができるなら、悔い改めた一人の上に天で喜びがあることを覚えなさい。……あなたは思慮深い努力によって、失われた羊をイエスのおりに連れ戻す手だてとなることができる。(ユース・インストラクター 1886 年 5 月 4 日)

真理は勝利する

「主はあなたがたにこう仰せられる、『この大軍のために恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、主の戦いだからである。』」
(歴代志下 20 : 15)

キリストのみ名を名乗る一人一人に仕事がある。天からの声は、おごそかに義務を行うようにと、あなたに呼びかけている。この声に聞き従い、何処でもどのような能力であつてもただちに働きに出かけなさい。あなたはなぜ何もしないで一日中ここに立っているのか。あなたのなすべき仕事、あなたの全力を要求する仕事がある。人生の尊い一瞬一瞬は、あなたが神と同胞に負っている何らかの義務に関連している。……

魂を救うという大いなる働きには、まだなすべきことが残っている。暗闇の悪霊がみなこの働きを妨害している間、栄光に輝く天使はみなこの働きに携わっている。キリストは人をご自分のすべての富の相続人にすると申し出て、ご自分の心に秘めた永遠の愛をもってこの世に来られたことで、魂の大いなる価値をわたしたちに明らかにされた。罪を犯した人類に対するみ父の愛をわたしたちの前に公にし、ご自身を義なる方として、また信じる者を義とされる。(教会への証 5 巻 203,204)

真理に敵対して配備された莫大な数の者がおり、わたしたちは光を他の人々に提供するについて、彼らに相対さなければならない。わたしたちの希望は真理についての自分の知識や能力にあるのではなく、生ける神のうちにある。……神の栄光は危険にさらされている。だから人の努力に関するかぎり、断固とした努力と、神の力をあらわすための大能の神に対する生きた信仰がなければならない。さもなければすべての者が失敗する。神はイスラエルの敵を破り、彼らの軍勢力を乱された。彼らはめくらめつぼう逃げた。だれがイスラエルの主なる神のみ前に立つことができようか。

今わたしたちは血肉に対して戦っているのではなく、もろもろの支配と権威と天上にいる悪の霊に対する戦いである。主はわたしたちのすべての力の源として、またわたしたちを助けることのできるそのお方として、ご自分を見るようにとわたしたちを励まされる。……イスラエルの神がわたしたちのために働きを引き受けられるなら、このお方はそれを成功させられる。(ビュー・アンド・ヘルド 1887年5月10日)

真理は勝利する。(手紙 345,1904 年)

キリストはご自分に仕える者をおほめになる

「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。」(マタイ 25 : 21)

主はわたしたちのために大きなことをしようと思っておられる。わたしたちは人数で勝利を得るのではなく、イエスに魂を完全に捧げることで勝利を得る。イスラエルの大能の神を信頼しながら、その力強さのうちに前進しなければならない。……真理について聡明な知識を持つことが不可欠である。その他にどのようにして狡猾な敵に対抗できるだろうか。聖書を、その教える教義だけでなく、実際の教訓として研究しなければならない。あなたは不思議に思うことなく、武装してはいなくてはならない。どのような緊急事態のためにも、どのような義務の召しにも準備をしていなさい。預言に精通し、キリストの教訓に精通して、真理を提供するあらゆる機会を待ち見張っていなさい。しかしよく準備した証拠に信頼してはならない。証拠だけでは十分ではない。ひざまずいて神を探し求めなければならない。……み霊の力と感化を通して人々に会うため出かけなければならない。……神はギデオンの軍隊を構成した人々のように、あなた方を細心の注意を払う者にしたいと思っておられる。(レビュー・アンド・ヘラルド 1884 年 7 月 1 日)

最後の審判の日に、その働きに応じて報いが一人一人に与えられる時、あなたが助けの手だてとなった、贖われた魂があなたのところにやってきて、「あなたは私を失望から引き上げて下さった」という魂がいるのはあなたの特権である。そして主はあなたに「よい忠実な僕よ、よくやった」と仰せになる。(手紙 348, 1908 年)

主はご自分の働き人の完全な一覧表を持っておられ、聖書の歴史の中で 2、3 の名前をわたしたちに与えておられる。忠実な家令の中にはアブラハム、ヨセフ、モーセ、エリヤ、ダニエル、ネヘミヤ、ヨハネ、パウロがいる。……主のぶどう畑で働く働き人には自分たちを激励するために、各時代にわたって善の模範となる者がいる。その人々は神の愛、天使の奉仕、イエスの同情、喜びの冠についている星のように永遠に輝くために、尊い魂を勝ち取る希望を持つよう彼らを元気づけるはずである。(レビュー・アンド・ヘラルド 1885 年 1 月 6 日)

福音が全世界に宣べ伝えられる時

「そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」(マタイ 24 : 14)

「父がわたしをおつかわしになったように、わたしもあなたがたをつかわす。」わたしたちは真理に対するあかしを、イエスの内にあるとおりに、キリストと使徒たちが行ったとおりに担わなければならない。聖霊の力を信頼しながら、わたしたちは十字架にかかってよみがえられた救い主の憐れみと慈しみと愛を証言して、暗闇を多くの人の思いから追い散らし、多くの人の心から神のもとへ、感謝と賛美をのぼらせる器とならねばならない。神の息子娘によってなされねばならない大いなる働きがある。(レ・ビュー・ア・ド・ヘラルド 1895 年 6 月 25 日)

わたしたちの世界に送られた最後の厳粛な警告のメッセージを受け入れない人々は聖書を曲解する。彼らは品性を攻撃し、聖書の真理を擁護する者の信仰と教義に関して偽りの申し立てをする。注意をそらすために、可能なかぎりの方法がとられる。見世物、ゲーム、競馬、その他さまざまな種類の娯楽が実施される。下からの激しい力が、天からのメッセージに反対するように人々を揺り動かす。……インマヌエルの君の旗のもとに再び集まって、イエスのみ名と力強さのうちに戦いを推し進めよう。

滅んでゆく魂がある。彼らは救いの条件を知る必要がある。……多くの人が無知という暗闇の中に埋没し、克服できない障壁の後に身を隠しているようにみえる。……しかし天使たちは人と共に働いていることを心に覚えていなさい。聖霊は不信というとりでを粉々にすることができる。イエスはご自分の軍隊を戦場へ導いておられる。……わたしたちの司令官は勝利へと導かれる。(レ・ビュー・ア・ド・ヘラルド 1895 年 7 月 2 日)

福音事業の任命を完成するために、神の教会の会員が、光の必要な自国や外国の伝道地で、それぞれ定められた働きをするならば、まもなく全世界に警告がゆきわたり、主イエスは力と大いなる栄光をもってこの世にもどってこられるのである。(患難から栄光へ上巻 116)

わたしたちが自分を道具として捧げるなら、神はご自分の働きをなされる。(教会への証 9 巻 107)

Good Way Series 研究 3-4



キリストが 戸をたたいておられる (IV)

II- 後の雨のための準備

第四天使の現在の使命は、黙示録 3:14-20、及びイザヤ 58 章を通して、後の雨を受けるために民を準備させることです。ホワイト姉妹は次のように記しています。

「わたしはラオデキヤ人への証が現在の神の民に当てはまることを見た。…この恐るべきメッセージはその働きをなすであろう。…わたしはこのメッセージが、短い数か月のあいだに成し遂げられるのではないことを見た。それは神の民を目覚めさせ、彼らに自分たちの背信を発見させ、熱心な悔い改めへと導き、こうして彼らがイエスのみ前に恩寵を得ることができるよう、また第三天使の大いなる叫びにふさわしくなるためである。」(教会への証 1 巻 186)

「わが兄弟がたよ、あなたがたはもっと注意深くイザヤ 58 章を研究する必要がある。この章は、唯一わたしたちが安全に従うことのできる道筋を示している。

…

預言者はこの言葉―驚くべき明確さと力のメッセージ―を主から受ける、『大いに呼ばわって声を惜しむな。あなたの声をラッパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ、ヤコブの家にその罪を告げ示せ』。彼らは神の民、ヤコブの家と呼ばれているが、すなわち従順と交わりのうちに神とつながっていると公言するが、彼らはこのお方から遠い。彼らにはすばらしい特権と約束が与えられてきた。しかし、自分たちへの信任を裏切ってきた。彼らにどんなへつらいの言葉も与えられてはならない。…彼らにどこで過ちを犯したかを示しなさい。彼らの危険を彼らの前に示しなさい。彼らが自らの義を誇っていながら同時に彼らが犯している

罪を告げなさい。…世俗的な方針が彼らの事業や宗教生活に入ってきている。彼らの心は真理によってきよめられていない。神は彼らの外見の謙遜の儀式を、もったいぶった偽物としてご覧になっている。このお方はすべての宗教的な見せかけをご自分に対する侮辱とみなしておられる。…

わたしたちの働きは今民を目覚めさせるべきである。サタンはすべての自分の使たちと共に大いなる力をもって、神の働きに対抗するために、考えつく限りのあらゆる欺瞞をもって働こうと下ってきた。主にはご自分の民のためのメッセージがある。このメッセージは人がそれを受け入れようが拒もうが、伝えられるであろう。キリストの時代のように、闇の権力の深いくらみがあるであろう。しかし、メッセージはなめらかな言葉や美しい演説で弱められてはならない。…」ここで描写されている民は、自分たちが神の恩寵を受けていないことを自覚しています。…彼らは聖霊に欠けています。…主は彼らに明確な譴責のメッセージを送り、ご自分の恵みによって彼らを訪れてはおられないことを示しておられます。…

1. 改革者たち - メッセージを担う人々

「わたしたちは律法の規則を実行に移すべきである。そうすれば、こうしてわたしたちの前に義が行き、神の栄光がわたしたちのしんがりとなるであろう。

キリストの義の光がわたしたちの前を守り、主の栄光がわたしたちのしんがりとなるのである。…

クリスチャンとしてわたしたちは、発展し見られる義—イエス・キリストがわたしたちの世におられたときにこのお方のご品性を表したような義—を持つべきである。…

ここ〔イザヤ 58:8-14〕に、改革者となる人々、第三天使のメッセージの旗印を担う人々、自ら神の戒めを守る民として明言し、神を尊び、そして熱心に、全宇宙の見ているところで、古く荒れすたれたる所を建て直す働きにたずさわる人々の特徴があげられている。彼らを破れを繕う者、市街を繕って住むべき所となす者と呼ぶのは、どなたであろうか。それは神である。彼らの名は天に改革者、回復者、代々やぶれた基を立てるものとして登録される」(SDA パイブル・コメント [E・G・ウィット・コメント] 4 巻 1149-1151)。

2. 改革 - 「主の旗印」

「唯一の真の改革…

あなたに対する神のご計画は、まさにあらゆる困難の宿る場所そのもの、すなわち心から始められなければならない。そのとき、心から義の諸原則が流れ出るからである。改革は内側と同様に外側にもあるであろう。…神のご計画は人を改革の分野で働くために配置することである。そのとき、彼は経験によって、自分がどれほど長く肉に対する食欲を満たし、そして自分自身の気質を助長し、自らに弱さを招いて来たかを学ぶようになる。

神の方法は力をもって働くことである。このお方はもし病人が恵みの必要を自覚するなら、それをお与えになる。…神は汚れた魂を、純潔にし、精錬しようと申し出て下さる。それから、このお方は心の中にご自身の義と平安と健康を植え付け、人はこのお方のうちに完全なものとなるのである。そのとき、命の泉が心から流れ出て、井戸として代表し、永遠の命へとわきでるようになる。

これがあなたのうちにある神の御国である。日々、人は神の御国が自分たちのうちにあるかどうかを表している。もしキリストが彼らの心のうちで支配しておられるならば、彼らは忠実な歩哨、すなわち真の改革者として立つための原則の強さ、力、能力を得ているのである。なぜなら、イエス・キリストとの徹底的な協力がなければ、改革はあり得ないからである。キリストの恵みを通して、人は神に与えられた自分の機能を、自らを改革するために用いるべきである。自己否定の行為、すなわち天の主が是認をもってご覧になる行為によって、彼らは自分自身の先天的、後天的傾向に対する勝利を得る。そのとき、ダニエルのように彼らは他の人々の心に決して消されることのない印象を残す。感化力は全世界のあらゆる場所へ伝えられるであろう。

人々は自分たちの選択に従って、いずれかの側を取っている。神のみ言葉を食している人々は彼らの実践によってそれを示している。彼らは世を改革するための教えと模範によって、主の側にいる。神から教えられることを拒むすべての人は、人間の伝統をつかむ。彼らはいかに敵の側、神に敵する側へと越えていき、「反キリスト」と記される。神の民、すなわちこの世の歴史におけるわたしたちの立場を理解する人々は、開かれた耳と、やわらげられ制せられた心を持っており、共に一致して、イエス・キリストと一つになって押し進む。キリストの教訓を実践しようとせず、自らを自分で形成しようと手中につかみ続けている人々は、反キリストのうちに彼らの連合の中心を見出す。二つの団体が衝突している間に、主が現れるであろう。」（牧師や働き人への特別な証 No.9 54-56 (1897年)）

ことは、わくわくしたにちがいありません。しばしば、アダムとエバは、自分たちの周囲にあるすべての美しさと完全さに驚いて息をのみました。彼らはきっと、「主なる全能の神よ、あなたのみわざは、なんと偉大ですばらしいことでしょう!」と叫んだことでしょう。

たしかに、神さまとの休息、礼拝、交わりの最初の日は、とても、とてもうれしい日だったにちがいありません。アダムとエバは、一生の間、それを覚えて、それについて話したのです。

そして神さまは、一つ一つの安息日が、できるかぎり最初の安息日に近いものとなるよう、望んでおられます。そこで、シナイ山で十戒をお与えになったとき、このお方は「安息日を覚えて、これを聖とせよ。六日のあいだ働いてあなたのすべてのわざをせよ。七日目はあなたの神、主の安息であるから、なんのわざをもしてはならない」とおっしゃったのです。このお方は、わたしたちが忘れないように、次のように付け加えられました、「主は六日のうちに、天と地と海と、その中のすべてのものを造って、七日目に休まれたからである。それで主は安息日を祝福して聖とされた」。

エデンの園での最初の安息日の後、何千年もの間、神さまはなおそのことを考えておられます。このお方はそれをお忘れになることはできませんでしたし、これからもできないのです。そして、あまりにもうれしく、美しく、本当に祝福されたので、このお方は他の人もみな、それを覚えてほしいと望んでおられます。なぜなら、もしわたしたちが望むなら、毎週の安息日があの日のように、うれしく、美しく、祝福された日になれるからです。わたしたちがしなければならないのはただ、第七日目を覚えてそれを聖とし、神さまと共に歩み、語り、そして天地の創造主としてこのお方に礼拝を捧げることです。

玄米コロッケ

■材料

炊いた玄米	茶わん 3 杯分
人参（みじん切り）	1 本
玉ねぎ（みじん切り）	1 個
にんにく（みじん切り）	1 片
くるみ	1/2 カップ
オリーブ油	大さじ2
塩	少々
カレー粉	少々
全粒粉	適量
パン粉	適量
菜種油	適量
パセリ	適量
千切りキャベツ	お好み

■作り方

1. フライパンに油を熱し、玉ねぎとにんにくをしんなりするまで炒めます。
2. にんじん、しいたけを加えて炒め、塩とカレー粉を入れて、火から下ろして玄米ごはんを混ぜ、8 等分にします。
3. 丸く形を整え、水（分量外）でゆるく溶いた全粒粉、パン粉の順につけ、170 度の油で色づくまで揚げます。
4. 器にキャベツを敷いてコロッケをのせ、お好みでパセリを飾ります。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒 350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



聖書物語

パート2 第4話
覚えるべき日(II)

彼らは完全に幸福でした。そして朝、上る太陽が彼らを夜の眠りから目覚めさせると、神さまはご自分が彼らの家庭のために造られたうつくしい園をぬけて、彼らを導いていかれました。おそらく、このお方は彼らに創造のすばらしい秘密をいくつか語られたことでしょう。彼らが何かの美しい木々やうるわしい花盛りのかん木に感嘆して足をとめると、神さまはそれらがどのように土地からその食物を得るのか、どのように木の幹をとって樹液がのぼり、枝や小枝、葉、花々へと出て行くのかを説明なさいます。

おそらくこのお方は彼らに、うつくしい白百合がどのように小さくて茶色い球根から育つか、どのように小さく青いはん点のついた卵が小さいカナリアになるのか、どのようにバラ色のりんごの中にある小さい種が、また別のりんごの木へと成長するのかを語られることでしょう。

もしかしたら、このお方はどのようにハチが蜜を集めるか、どのようにクモが巣をはるか、またどのように白い牛乳が、緑の牧草を食べる赤い牛から出てくるのかを説明されることでしょう。またおそらく飛ぶことの秘密一わしがどのように山々を越えて飛ぶことができるのか、またどのようにハチドリがヘリコプターのように浮かぶことができるのかを明らかに

されることでしょう。

わたしたちはその日について、彼らが何を語ったのかを正確に知ることは決してありませんが、創造主と創造のわざの中を通りながら歩く



(43 ページに続く)